

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

本校は、笹川東小学校と笹川西小学校の統合により、「四日市市立笹川小学校」として新たにスタートを切ってから4年が経ちました。学校教育目標を「笹川に学び、笹川を愛し、笹川とともに歩む子どもの育成」とし、この目標を地域・保護者と共有しながら、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進めています。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 教育活動の実践事例

#### ◆ 「笹川こどもみまもりたい」との連携

「笹川こどもみまもりたい」の地域ボランティアの方が、毎日、危険な交差点等に立っていただいています。学校及びPTAと連携しながら、登下校中に怪我をした子に寄り添っていただいたり、雪の予報が出た時には、歩道橋を渡ることについて前日から協議いただいたりして、子どもたちの登下校時の安全を図っていただいています。

#### ◆ 学校法面の除草作業

学校周辺の景観を良くすることで放火や不法投棄等を防ぎ、教育環境をより良くするため、地域の「ふれあいネット」の方やPTAの協力を得ながら、年2回、学校法面の除草作業を行っています。

#### 【実施日】

- ① 令和4年 5月21日（土）～ 5月28日（土）
- ② 令和4年10月 8日（土）～10月15日（土）



#### ◆ 小中合同学校運営協議会の開催

1小1中の中学校区ということもあり、年2回、小中合同での学校運営協議会を開催しています。義務教育の9年間で、目指す子どもの姿について、共有するとともに、共通する教育課題について、意見交換することができました。

#### 【共通する教育課題】（委員の意見抜粋）

一つの学校に30%の外国人児童がいる。日本語も母国語も中途半端で学力が伸びないのは、大きな課題である。子どもたちに学力をつけるためには、教員一人あたりの子どもの数を少なくする必要がある。

しかし、市教委は学校に対して、支援はしているとは思いますが、大きな施策を打っていない。全てを学校に任せて「先生ら、頑張っておくれ！」では、10年先も、このまま何も変わらない。コミュニティスクールとしても、この現状を何とか変えていくために、取り組んでいく必要がある。

#### (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

子どもや学校が抱える課題や地域で育てる子どもの姿などを協議し、地域と学校が何を実現していくのか等「学校教育ビジョン」を共有することで、明確な役割分担をもった連携・協働による取組ができました。

学校の本来業務の見直しが進む中、「学校の応援団」として地域と学校がお互いに「当事者」となり、共通の目標に向かっていく「コミュニティスクール」としての意識の高まりを感じることができました。

#### 3 今後に向けて

授業参観や学校評価アンケートの結果から、学校だよりやホームページ等にて、学校情報を今後も継続して配信していきたいと考えます。また、教職員の働き方改革、教職員の定数不足の問題等、今日的な教育課題についても、西笹川中学校区（小中合同）として議論を深め、コミュニティスクールの視点からできることはないかを模索していく必要があると考えます。